

日本バルカー工業株式会社

1. 会社の概要

- (1) 会 員 名：日本バルカー工業株式会社
- (2) 所属部会：関東金属機械部会第2分科会
業 種：製造業
資 本 金：139億円
従業員数：479名（グループでは1,343名）
- (3) 事業内容：産業機器，化学，機械，エネルギー，通信機器，半導体，自動車，宇宙・航空産業等，あらゆる産業向けにファイバー，ふっ素樹脂，高機能ゴム等各種素材を複合化し機能性素材とその成型品を設計，製造，加工および販売
- (4) 企業理念：
日本バルカー工業株式会社は，創業以来，社名の由来でもある「Value & Quality（価値の創造と品質の向上）」を基本理念に掲げ，あらゆる産業にわたってお客様に満足していただける製品作りに邁進することで，産業の発展に貢献してきました。
- (5) ブランドマーク



VALQUAは「Value & Quality」を表す造語です。

2. 知的財産部門の概要

(1) 組織上の位置及び名称

知的財産室は研究・開発部門を統括するCTO（最高技術責任者）の直属部門として位置付けられており，海外子会社を含む全グループの知的財産機能を主管しています。

(2) 沿革

1927年1月に大阪府にて日本ブレーキライニング製作所として創業し，1932年に日本バルカー工業株式会社が設立されて以降，知的財産機能は技術部特許課が担ってきましたが，1999年1月，業容拡大に伴って知的財産室として独立し，現在に至っております。

3. わが社の知的財産活動

(1) 発明の発掘と活用促進

特許をはじめとした知的財産権には防御機能もあることから，製品に活用されていなくても保全する価値は認めつつも，やはり製品に活用されて，利益貢献することが本来の機能であると認識した上で，近年は活用見込みの高い発明の発掘に努めています。当社の基盤技術は「漏れを防ぐ技術」で，例えば，気体，液体の漏れから電波などの漏れまでを対象としますので，用途は全製造産業に広範囲に及ぶものです。近年は特に，従来のシール材の概念を越えた領域で特許調査も行い用途探索を強化しています。

(2) 中国への出願強化

当社は2004年4月に中国の上海市に「ふっ素

樹脂研究所」を、また同年8月に「バルカーシール研究所」を設立（現在、両研究所は「中国総合研究所」に統合）し、現地における研究・開発活動も順調に進んできています。一方では中国政府による知的財産権強化のための法整備も着々と進められてきたことから、中国への出願も強化するようにしております。

(3) 社内知財教育の充実

これまでもR & D要員を対象に、特許をはじめとした知財に関する社内教育を定期的に行ってまいりましたが、社会全体がオープンイノベー

ションという大きな変革期にある中で、営業部門も対象とした教育プログラムの充実に着手したところです。

4. 今後の課題

わが国の知財担当部門には、国際的な競争力確保のため研究・開発部門と事業部門が三位一体となった知財の創造・活用・保全活動が求められ、社内教育の充実を図ることで、複眼的な情報収集が可能となるよう、知財部門の強化を図っております。

(原稿受領日 2010年10月6日)